

## 中医協概要報告（2022年11月9日開催）

（第190回薬価専門部会、第531回総会）

厚労省は11月9日、中医協の薬価専門部会、総会を開催した。薬価専門部会では、来年のいわゆる「中間年薬価改定」について議論されているところだが、これとは別に「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」の検討状況が報告された。検討結果は来年4月に取りまとめられるが、この中から来年の薬価改定に資する論点について議論された。ただ、検討状況はあくまでも令和6年度改定以降の内容に特化しているのと、「薬局や診療所、病院の経営に詳しい方々の意見が抜けている」（診療側。有澤賢二委員。日本薬剤師会理事）などの懸念が出された。

また、総会では、医薬品や医療機器などの提案があり、提案通り了承された。この中で、「総-8 歯科用貴金属価格の随時改定」については、「6 歯科鑄造用金銀パラジウム合金」の告示価格は7月に3,715円であったものが、10月に3,418円となり、来年1月より3,711円（+293円）となることが報告された。

### 医療機器、医薬品の保険適用、医薬品の費用対効果案、など

- （1）医療機器の保険適用について、①AcQMap マッピングカテーテル（484,000円。心腔内電位を取得するための電気生理学的検査用電極カテーテル）、②サージセル・アブソーバブル・ヘモスタットMD（綿型12,700円/g、織布型48円/cm<sup>2</sup>、吸収性局所止血材）、③メディカーボ・ヒップネイル（ネイル162,000円、ラグスクリュー36,600円。大腿骨の骨髓腔内に挿入して使用する髄内釘及びその専用部品）、④補助循環システム HLS SET Advanced-LT（535,000円。ヘパリン使用体外循環システム）の全てが意見なく承認。
- （2）「医薬品等の費用対効果評価案について」では、ポライビー（中外製薬）の費用対効果の評価内容について意見なく了承。
- （3）医薬品の保険適用については、16成分20品目の保険適用が提案され、質問等有りつつも承認された。
- （4）最適使用推進ガイドラインについても、テゼペルマブ（遺伝子組換え）について意見なく了承された。
- （5）新規収載された16成分は出来高、類似薬効比較方式で設定されている5成分はDPCの当該分類に反映することが意見なく承認。
- （6）在宅自己注射指導管理料の対象薬剤に「アバロパラチド酢酸塩製剤」、「カプラシズマブ（遺伝子組換え）」、「乾燥濃縮人C1-インアクチベーター製剤」、「フレマネズマブ（遺伝子組換え）」、「メトトレキサート製剤」を追加することが意見なく承認。

以上

**<会内使用以外の無断転載禁止>**

配布された資料は、下記の厚生労働省HPで公開されています。

第190回薬価専門部会

[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212451\\_00052.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212451_00052.html)

第531回総会

[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500\\_00168.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00168.html)